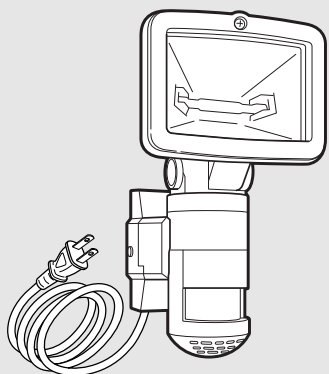
LA-S15 取扱説明書(保証書付)

販売店様・工事店様へ
LA-S15の設置が終わりましたら、この取扱説明書をお客様にお渡しいただきますようお願いいたします。

・この度はLA-S15をお買い上げいただきましてありがとうございます。

・お取り付けになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

・この取扱説明書をお読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

・この製品は盗難・災害・事故などを防止するものではありません。なお万一発生した盗難・災害・事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

・この製品は日本国内用です。海外ではご使用にならないでください。
This product designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

もくじ

はじめに

■絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。十分ご理解の上、本書をお読みください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷する可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

必ず守らなければならない注意事項や制限事項、知っておくと役に立つ内容を示しています。

■絵表示の例

⃠記号は禁止を示しています。図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を示しています。図の中には具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

安全にお使いいただくために

警告

項目	内容
燃えやすい物の近くで使用禁止	燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。火災の原因になります。人がいなくてもセンサで点灯することがありますので、特にご注意ください。
異常なときは電源プラグを抜く	万一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因になります。すぐに電源を切り異常状態がおさまったことを確認してから、販売店、工事店にご連絡ください。お客様自身による修理は、危険ですのでおやめください。
感電注意	濡れた手で、本体や電源プラグに触らないでください(雨などで濡れているときも触らないでください)。 また、電球の交換、清掃は、電源プラグを抜いてから作業してください。感電の原因になります。
火傷注意	電球は高温になります。本体を触るときは電源プラグを抜き、必ず電球が冷めていることを確認してください。火傷の原因になります。
分解･改造の禁止	分解･改造は、危険ですのでおやめください。火災、感電の原因になります。

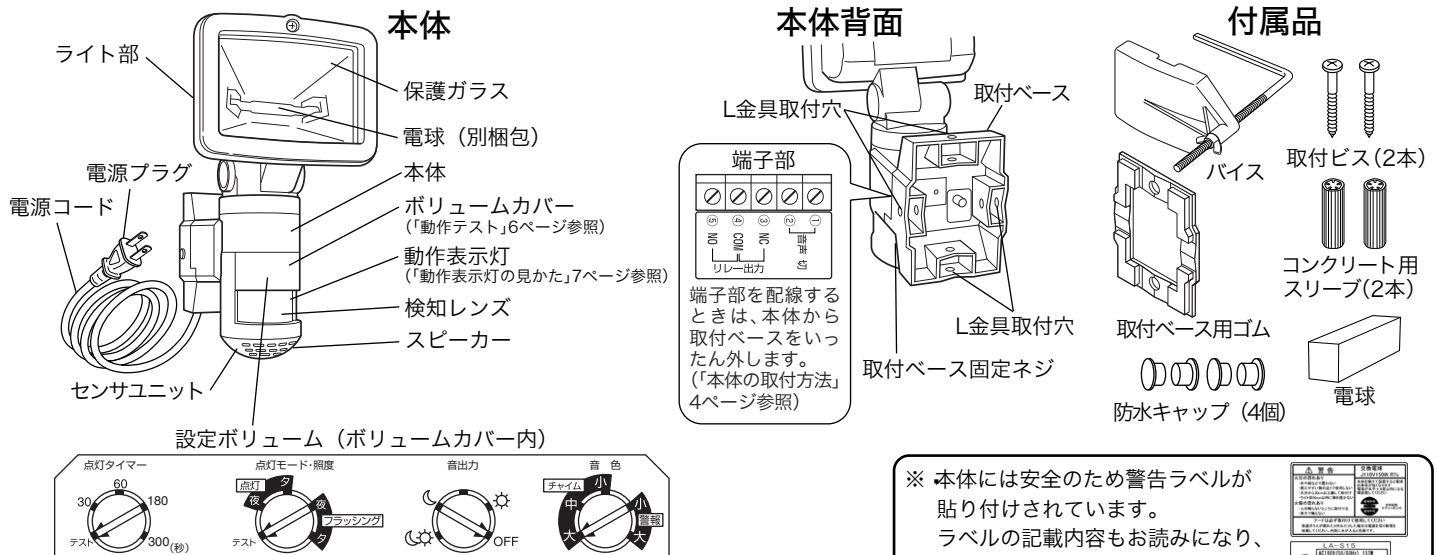
注意

項目	内容
水や湿気の多い所での使用禁止	この製品は防沫形ですが、風呂場などの湿度の高い場所、水に浸かる恐れのある場所、水中などには設置しないでください。また、ホースなどで水をかけないでください。火災、感電の原因になります。
取り付け方向を守る	取り付けには方向性があります。本書にしたがって正しい方向に取り付けてください。火災、感電の原因になります。
電気工事は専門家に依頼	電気工事が必要な場合は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。
100V以外での使用禁止	必ず交流100Vで使用してください。100V以外で使用すると、火災、感電の原因になります。
定期清掃点検の実施	適正の明るさで、また安全に使用していただくために、定期的に清掃点検を実施してください。不具合があった場合はそのまま使用しないで、工事店、電気店(有資格者)に修理を依頼してください。

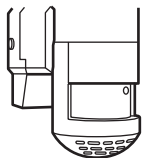
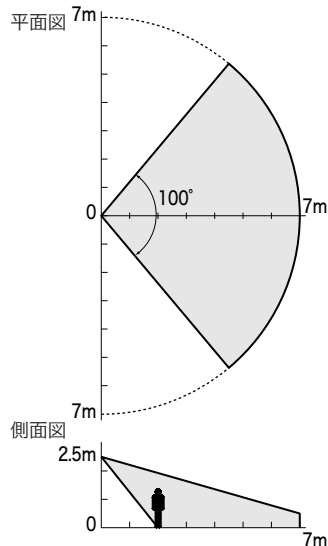
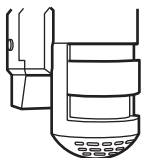
1 お使いになる前に

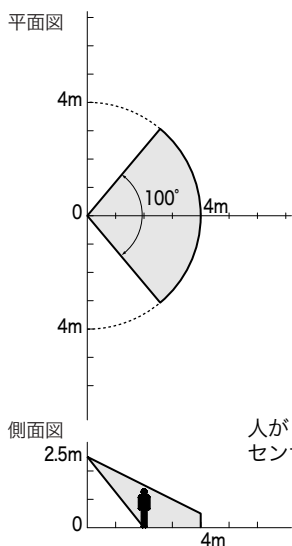
各部の名称と付属品

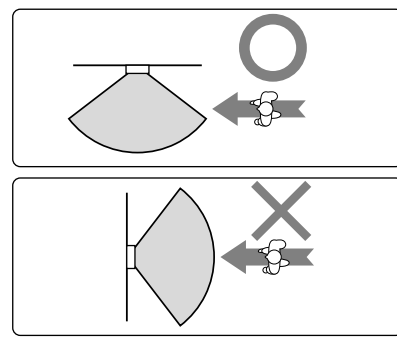
お使いになる前に、本体と付属品が揃っているか、また破損していないかお確かめください。

※ 本体には安全のため警告ラベルが貼り付けされています。
ラベルの記載内容もお読みになり、正しくお使いください。

検知エリア

ボリュームカバーを上下にスライドさせることで、
検知エリアを2段階に調整することができます。

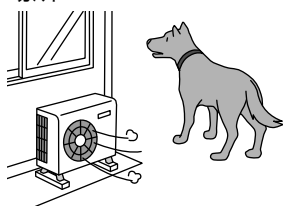
①ボリュームカバーを開けたとき
（標準状態）

②ボリュームカバーを図の位置まで
下げたとき（エリアを小さくしたいとき）

ボリュームカバーが①の位置の場合

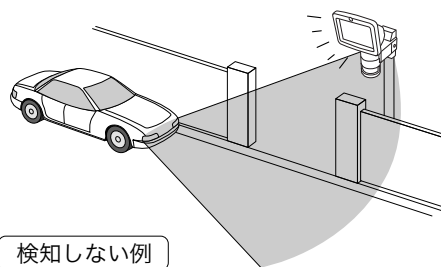
ボリュームカバーが②の位置の場合

人が ▭ 範囲に入れば
センサが検知して点灯します。

・ボリュームカバーは3段階で止まります。一番下の位置はボリュームを調整するときの位置です。
使用時は必ず、左図①, ②の位置で使用してください。
・検知レンズは左右に動かすことができます。検知したい方向に向けて使用してください。
・この製品は、検知エリア内に入ったときの温度変化を検知する方式です。周囲の温度によって検知距離が変わる場合があります。
・センサに対して人が正面から近づくと検知しにくい場合があります。できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。

設置場所を決めるときのご注意

次のような場所に設置すると人がいなくても点灯したり、音が鳴ったりすることがありますので、くれぐれも注意してください。

・検知エリア内に庭木や洗濯物など動く物がある場所

・近くにヒーターやクーラーなどの吹き出し口がある場所
・検知エリア内を犬や猫などが通る場所

・検知エリアの正面から太陽や車のヘッドライトが直射する場所

・検知エリア内に大理石など反射の強い床面がある場所
・周囲に壁や塀などの検知エリアを遮る物がない場所
・ガラス越しは透明でも検知しません。

検知しない例
・常に明るい(照度検知が正しく動作しません。)
・ガラス越し

・設置後は必ず動作テストをしてください。「動作テスト」6ページ参照
・検知エリアが7mと広いため、敷地外でも検知する場合は検知エリアを調節してください。

設置場所を決めるときは、安全上も十分に注意してください。

・人や物がぶつからない所に取り付けてください。
・燃えやすい物の近くに設置しないでください。火災の原因になります。
・本体が落下しないように、安定した場所に取り付けてください。
・電源コード(5m)は延長できません。電源コンセントまでの距離を考慮して設置してください。

2 本体を設置する

⚠ 警告

燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。

電球は高温になります。電源プラグを抜き、必ず電球が冷めていることを確認してから作業してください。火傷の原因になります。

濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

電球の交換の際は、J110V150Wハロゲン球を使用してください。指定以外の電球を使用すると、火災の原因になります。
火傷防止のため電源プラグを抜き、5分以上経過してから電球を外してください。

・保護ガラスが開かないように、また本体と保護ガラスの隙間から水が入らないように、ネジをしっかりと締め付けてください。
・電球が割れないように慎重に取り扱ってください。

本体の取付方法

本体は垂直な壁や柱などの取付面と平行に取り付けてください。正常に取り付けないと、**人を検知しない**場合があります。

■壁や平らな柱などに取り付ける場合

1 取付ベース固定ネジをプラスドライバーで本体から外します。

2 取付ベースを本体から外します。

3 取付ベース、取付ベース用ゴムに取付ベース固定ネジを通すための穴(各2ヶ所)を電動ドリルなどを使用して開けます。

注意 穴を開ける際は、取付ベースを割ったり、取付ベース用ゴムを切ったりしないように注意してください。

音声切入力およびリレー出力を使用する場合は、本体背面にある端子台にリード線を接続します。
「制御入力、リレー出力の配線方法」5ページ参照

4 取付ベース用ゴムを取付ベースにはめ込み、壁や平らな柱などに取り付けます。

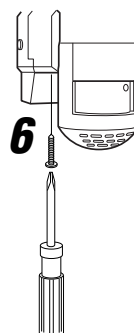
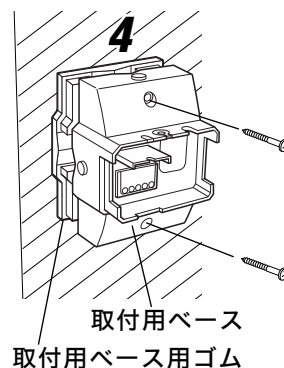
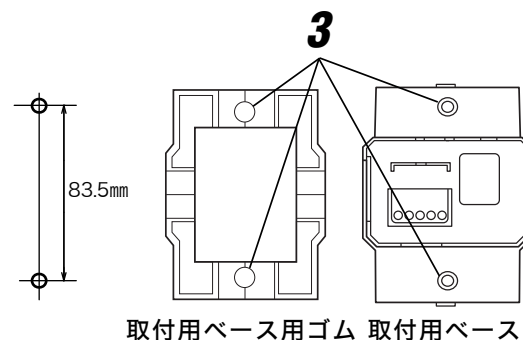
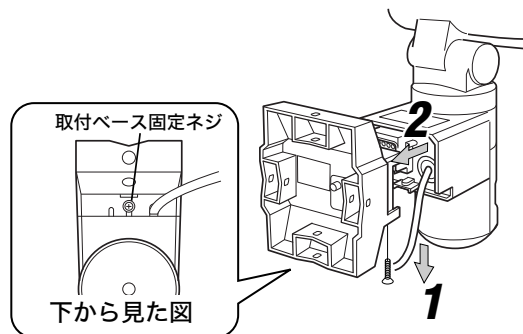
- コンクリートの壁や柱に取り付ける場合は付属のコンクリート用スリーブと付属の取付ビスを、木の壁や柱などに取り付ける場合は付属の取付ビスを使用してください。

注意

・しっかりした壁または柱などに取り付けてください。ベニヤ板、モルタルなどに取り付ける場合は、ホームセンターなどで専用のネジを別途お求めください。
・スイッチボックスを使用するときなど、電気工事が必要な場合は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

5 取付ベースに本体をはめ込みます。

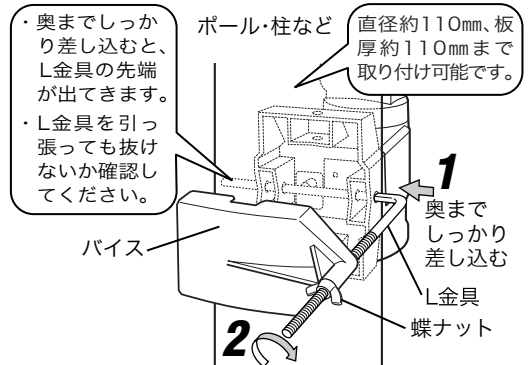
6 取付ベース固定ネジをプラスドライバーでしっかりと締め付け、固定します。

注意 本体が落下しないよう取付ベース固定ネジをしっかりと締め付けてください。

■ポールなどに取り付ける場合

音声切入力およびリレー出力を使用する場合は、本体背面にある端子台にリード線を接続します。「制御入力、リレー出力の配線方法」下記参照
「壁や平らな柱などの取り付ける場合」4ページの手順1、2を参照して、取付ベースをいったん取り外し、リード線を接続した後、手順5、6を参照して取り付けます。

1 付属のバイスのL金具をL金具取付穴に奥までしっかり差し込みます。

2 蝶ナットを手でしっかりと締め付け、固定します。
- 強く締めすぎると、L金具が壊れる場合がありますので、工具などは使用しないでください。

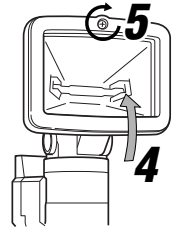
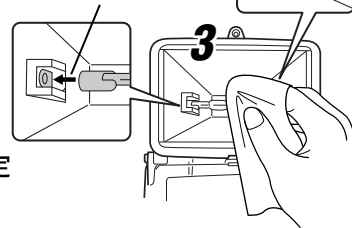
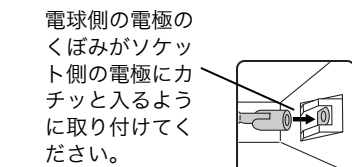
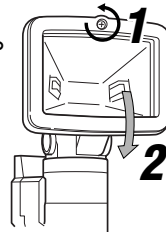
注意　本体が落下しないよう蝶ナットをしっかりと締め付けてください。

電球の取付方法

1 保護ガラスのネジをプラスドライバーで緩めます。

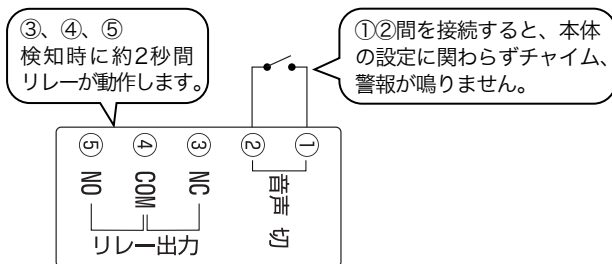
2 保護ガラスを開けます。

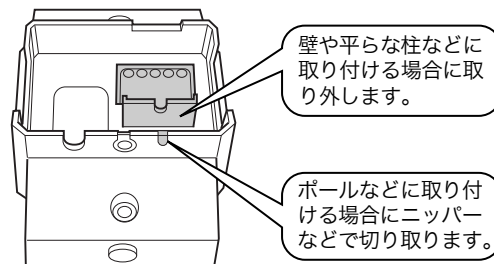
3 コネクタに電球をしっかりと差し込みます。
- 電球は直接手で触らず、ハンカチなどの乾いた布などで持ってください。

4 保護ガラスを閉めます。

5 保護ガラスのネジをプラスドライバーでしっかりと締め付け、固定します。

制御入力、リレー出力の配線方法

■端子配線図

音声切入力、リレー出力を使用するときは、リード線を次に示す端子に接続します。

■リード線の配線方法

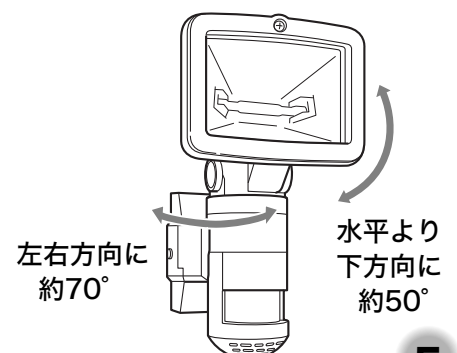
リード線を端子台に接続するときは、本体取付時に取付ベースの下図の部分を通して配線します。

ライト部の角度調節方法

警告

燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。火災の原因になります。

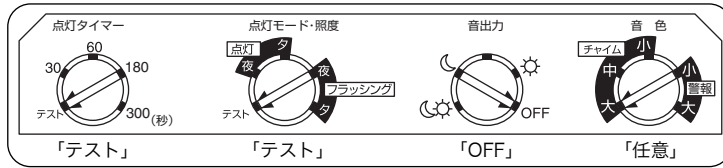
ライト部は高温になります。電源プラグを抜いて20分以上待ち、必ずライト部が冷めていることを確認してから作業してください。火傷の原因になります。

濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。

1 ライト部本体の角度を調節します。
ライト部は上下左右に動きます。

動作テスト

設置した後は、必ず動作テストを行い、センサが正しく検知され電球が点灯するか、スピーカーから音が鳴るかを確認してください。

1 **ボリュームカバーを下方向にスライドさせ、開けます。**

2 **点灯タイマー(秒)ボリューム、点灯モード・照度ボリュームをマイナスドライバーで右図の位置にします。**

3 **ボリュームカバーを上方向にスライドさせ、エリアを設定します。**
- 検知距離を半径7mにする場合は上まで、4mにする場合はと途中のクリックの位置まで閉めてください。「検知エリア」3ページ参照

4 **電源プラグを屋外用コンセントに直接つなぎます。**
- 電源が入った直後は、ウォーミングアップ状態になり30秒程度点灯します。
点灯すれば電球と電源は正常です。点灯しないときは電源プラグを抜き、「3「おかしいな…」と思ったら」7ページを参照してください。

屋内用コンセントは使用しないでください。また、電源コードは延長しないでください。漏電により、火災の原因となることがあります。

5 **検知エリアの範囲から離れて待ち、消灯したあと検知エリアの中にゆっくりと入ります。**
- 再び点灯すると、センサは正常です。再点灯しないときや、点灯後消灯しないときは「3「おかしいな…」と思ったら」7ページを参照してください。

6 **動作テスト終了後、各ボリュームを状況に応じて設定してください。**
音出力ボリュームを「OFF」以外にした場合は、点灯と同時に、音色ボリュームで設定した音色がスピーカーから鳴ります。

音出力ON時のライト・リレー出力について

センサが検知してチャイム・警報の音が鳴りはじめた後は、そのチャイム・警報の音が鳴っている間(最初に検知したときの音が鳴り止むまで)は、センサが新たに検知してもライト・リレー出力は動作しません。(最初に検知して点灯したライトは、タイマー時間点灯しつづけます。)

各ボリュームの設定

点灯タイマーボリューム

人を検知しなくなってから消灯するまでの時間を「30/60/180/300」(秒)から選択します。

点灯モード・照度ボリューム

点灯タイマーの時間だけ連続点灯させたい場合は「点灯」側に、点滅点灯させたい場合は「フラッシング」側に設定します。「フラッシング」側に選択した場合は、最初の20回点滅した後連続点灯し、検知しなくなってから点灯タイマーボリュームで設定した秒数後に消灯します。
周囲が明るいときには点灯しません。通常はそれぞれの「夕」側を選択してください。さらに暗いときのみ点灯させたい場合は、それぞれの「夜」側を選択してください。

音出力ボリューム

周囲が明るいときに音を鳴らしたいときは「☼」、周囲が暗くなったときに音を鳴らしたいときは「☾」、明るさに関係なく音を鳴らしたいときは「☾☼」、音を鳴らさないときは「OFF」に設定します。

音色ボリューム

音出力で「OFF」以外を選択したときに、音色を設定します。音色をチャイムにしたいときは「チャイム」側、アラームにしたいときは「警報」側の音量を選択ます。

チャイム、警報の鳴りかたについて

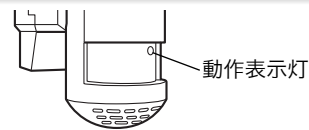
チャイム：チャイム音は人を検知すると2回鳴ります。その後30秒間はインターバルタイマーにより鳴りません。インターバルタイマーの30秒が終了後、新たに検知すると2回鳴ります。
点灯時間タイマー（電球の点灯時間）とは連動しません。

警報（アラーム）：警報は人を検知すると30秒間鳴ります。警報が鳴り止んでから新たに検知すると、再び30秒間鳴ります。

インターバルタイマーが動作している間は、動作表示灯が点滅します。点滅が終わってから検知すると、再度音が鳴ります。周囲が明るいときは動作表示灯が見えにくいときがあります。

3 「おかしいな…」と思ったら

動作表示灯の見かた

動作表示灯と電球の点灯/消灯によって、異常の原因がわかります。

動作表示灯	電　球	原　因	対　策
点 灯	点 灯	正常です。	—
点 灯	消 灯	電球が切れています。	新しい電球に交換してください。電球は高温になります。電源プラグを抜き、電球が十分に冷めていることを確認してから作業してください。「電球の交換」8ページ参照
		電球が正しくセットされていません。	電球をハンカチなどの乾いた布で持ち締め直してください。電球は高温になります。電源プラグを抜き、電球が十分に冷めていることを確認してから作業してください。「電球の交換」8ページ参照
消 灯	消 灯	電源が切れています。	電源プラグがコンセントから抜けていないか、また電源コードが途中で断線していないか確認してください。
		検知していません。	正常に検知できるように、設置場所を変更して動作テストを行ってください。
点滅		インターバルタイマー動作中	インターバルタイマーの動作中は、チャイム、警報はなりません。消灯後確認してください。

※ 動作表示灯は周囲が明るいと見えにくい場合があります。

思ったように動作しないときは

症　状	原　因	対　策
点灯しない(音が鳴らない)ことがある	検知エリアが遮られている	壁や塀などで遮られていると検知できません。また、ガラス越しなども検知できません。検知エリアを遮る物がある場合は、遮断物を移動するか、取付場所を変更してください。「設置場所を決めるときのご注意」3ページ参照
	周囲が明るい	照度センサにより周囲が明るいと点灯しません(音が鳴りません)。周囲が暗くなってから再度ご確認ください。「動作テスト」6ページ参照
人が通らないのに点灯する(音が鳴る)	検知エリア内に動く物がある(庭木、洗濯物、道路の車、犬や猫など)	動く物があると、検知して点灯する(音が鳴る)ことがあります。また、犬や猫などが検知エリア内を通ると点灯する(音が鳴る)ことがあります。取付場所を変更するか、動く物を取り除いてください。「設置場所を決めるときのご注意」3ページ参照
	検知エリア内に熱源や風を出す物がある	検知エリア内や本体付近に熱源や風を出す物(ヒーターやクーラーの室外機、換気扇など)があると点灯する(音が鳴る)ことがあります。取付場所を変更するか、熱源や風を出す物を取り除いてください。「設置場所を決めるときのご注意」3ページ参照
	検知エリアの延長線上に動く物がある	自動車などが検知エリアの延長上を通過すると検知することがあります。また、周囲の温度によって検知距離が変わる場合があります。取付場所を変更するか、検知エリアの範囲を変更してください。「設置場所を決めるときのご注意」3ページ参照
人がいるのに点灯しない(音が鳴らない)	人が検知エリアの中に入っていない	検知エリアを再確認してください。「検知エリア」3ページ参照
	人が動いていない	検知エリア内に人がいても動かないと点灯しない(音が鳴らない)ことがあります。再度動くと点灯し(音が鳴り)ます。

4 メンテナンス

■電球の交換

警告

燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。
火災の原因になります。

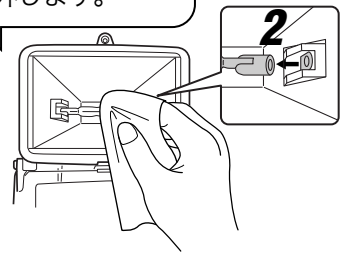
電球は高温になります。電源プラグを抜き、必ず電球が冷めていることを確認してから作業してください。
火傷の原因になります。

濡れた手で触らないでください。
感電の原因になります。

1 「電球の取付方法」5ページの手順1、2を参照して、保護ガラスを開けます。

2 右図のように、コネクタから電球を抜き、電球を外します。
・電球は直接手で触らず、ハンカチなどの乾いた布などで持ってください。

3 「電球の取付方法」5ページの手順3〜5を参照して、電球を取り付け、保護ガラスを閉めます。

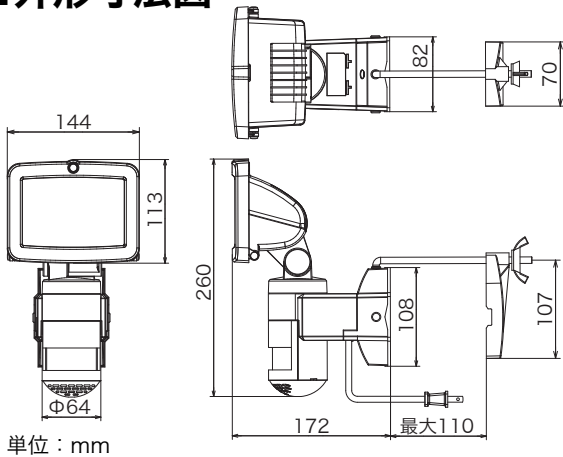
電球を持って左側に力を加えながら、右側のコネクタの端子から電球を抜き、取り外します。

■汚れたときは

水洗いはしないでください。本体の汚れは柔らかい布で乾拭きするか、
中性洗剤を薄めた水で湿らせた布をよく絞って拭き取ってください。

5 仕　様

■外形寸法図

単位：mm

■仕　様

項目	内容
型　式	LA-S15
検知方式	パッシブインフラレッド方式
昼夜判別機能	約5lx, 約50lx
点灯時間	30秒/1分/3分/5分切替
フラッシング機能	20回・点滅後連続点灯
サウンド機能	チャイム音/アラーム音　(昼夜/夜のみ/昼のみ/切)
鳴動時間	チャイム：2回(約30秒のインターバルタイマーあり)　アラーム：30秒
音　圧	チャイム：大/中/小　アラーム：大/中　(最大音圧：75dB/1m)
音声切入力	接続すると警報音・チャイム音：切
リレー出力	無電圧c接点(DC24V　1A最大)端子
使用温度範囲	−15〜+40℃
耐水性能	防沫形
電源コード長	約5m
定格電圧	AC100V　50/60Hz
定格消費電力	待機時約2W　点灯時約152W
質　量	約1.2kg
使用電球	J110V150Wハロゲン球

※仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

LA-S15 保証書

お買い上げ日		年　月　日
保証期間		お買い上げ日より１年間
お客様	ご住所	〒　TEL.
	ご氏名	様
お買上げ店	住　所	〒　TEL.
	店　名	

〈保証規定〉

Ⅰ. 保証の範囲
1. 取扱説明書に記載された正常な状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。
2. この保証は保証書に記載された製品について日本国内に限り適用いたします。
This warranty is valid only for Japan.

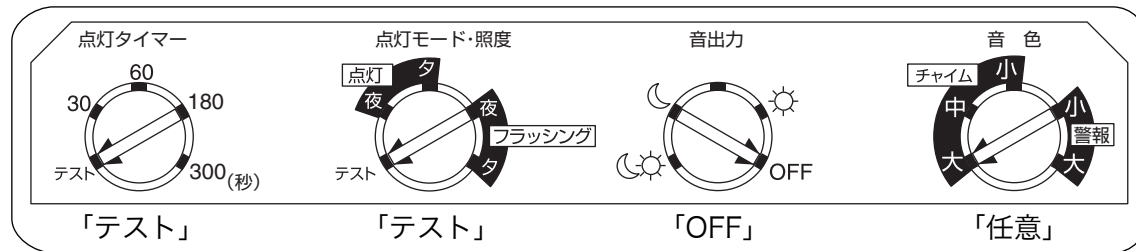
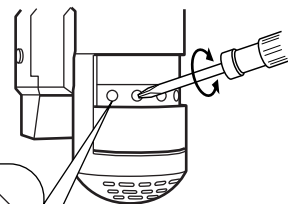
Ⅱ. 保証の条件
次に該当する故障は、保証期間中で(お買上げ日より１年間/但し電球は除く)であっても実費にて修理を申し受けることがあります。
1. あやまった取り扱い、不当な修理･改造を受けた製品の故障、また故意･不注意による破傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による破傷。
3. 本書に必要事項の記入が無い場合、また本書の提示が無い場合。

オプテックス株式会社
本　　社：〒520-0101　滋賀県大津市雄琴5丁目8番12号
TEL(077) 579-8630 FAX(077)579-8170
東京営業所：〒160-0023　東京都新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル19F
TEL(03) 3344-5775 FAX(03) 3344-5734

59-1170-1　2004.7.

LA-S15 補足説明書

動作テスト時のご注意

本体を設置した後は、取扱説明書の「動作テスト」6ページをよくお読みになり、必ず動作テストを行ってください。
各ボリュームをマイナスドライバーで下図の位置に設定します。

音出力ON時のライト・リレー出力について

センサが検知してチャイム・警報の音が鳴りはじめた後は、そのチャイム・警報の音が鳴っている間（最初に検知したときの音が鳴り止むまで）は、センサが新たに検知してもライト・リレー出力は動作しません。（最初に検知して点灯したライトは、タイマー時間点灯しつづけます。）

オプテックス株式会社